2027年3月期　第2四半期(中間期)
決算説明資料

株式会社オートバックスセブン

2026年11月2日

2027年3月期上期業績および通期業績予想

全体概況 P. 4
セグメント別業績 P. 5
　国内主要ブランド・業態別売上高（連結＋FC） P. 6
　オートバックス事業 P. 7
　コンシューマ事業 P. 8
　ホールセール事業 P. 9
　拡張事業 P. 10
業績予想 P. 11

中期経営計画の実現に向けた取り組み状況について

長期ビジョンと2024中期経営計画の目標 P. 18
中計最終年度（2026年度）の現状 P. 21
中長期の方向性について P. 26

参考資料 P. 27

2027年3月期　上期業績
および通期業績予想

取締役 管理管掌

平賀　則孝

2027年3月期上期 連結損益計算書

オートバックス事業およびコンシューマ事業の伸長により増収。
一方、物流拠点の拡大やIT投資に伴う費用増により営業利益は前年同水準。
持分法損失などにより経常利益は減少したものの、フランス撤退に伴う税効果で中間純利益は増益。

（単位：億円）	2027年3月期 上期 計画	2027年3月期 上期 実績	2027年3月期 上期 計画比	2027年3月期 上期 前期比	2026年3月期 上期 実績
連結売上高	1,417	**1,411**	▲0.4%	+9.6%	1,288
売上総利益	511	**515**	+0.9%	+11.5%	462
売上総利益率	36.1%	**36.5%**			35.9%
販管費	457	**465**	+1.8%	+13.0%	411
営業利益	54	**50**	▲6.3%	▲0.5%	50
営業利益率	3.8%	**3.6%**			3.9%
経常利益	56	**49**	▲12.1%	▲10.2%	54
親会社株主に帰属する中間純利益	36	**69**	+94.1%	+99.6%	35

※表示単位未満は切り捨て　※対売上比・前期比は円単位で計算
※2026年8月27日に通期計画を修正しておりますが、上期計画は期初策定時の数値です。

2027年3月期上期 報告セグメント情報

AUTOBACS SEVEN

	（単位：百万円）	2026年3月期 上期	2027年3月期 上期	前期比	総括
オートバックス事業	総売上高	94,166	99,508	+5.7%	増収増益 国内の小売・卸売ともに伸長し増収。 新規出店や子会社化に伴い販管費が増加したものの、増益。
	売上総利益	35,065	36,872	+5.2%	
	販管費	26,046	27,384	+5.1%	
	営業利益	9,019	9,487	+5.2%	
コンシューマ事業	総売上高	24,528	31,717	+29.3%	増収増益 オトロン、オンラインストアをはじめ全てのブランド・業態で売上伸長。 収益性も向上し、営業利益が大きく改善。
	売上総利益	7,105	10,178	+43.3%	
	販管費	6,996	9,399	+34.3%	
	営業利益	108	779	+617.5%	
ホールセール事業	総売上高	15,849	16,970	+7.1%	増収増益 国内の卸売子会社が好調に推移したことに加え、日本から海外向けの輸出が増加し、増収増益。
	売上総利益	2,903	3,001	+3.4%	
	販管費	2,666	2,724	+2.2%	
	営業利益	237	277	+16.8%	
拡張事業	総売上高	5,263	6,199	+17.8%	増収増益 新規出店や金利上昇により不動産収入が増加。
	売上総利益	1,180	1,532	+29.8%	
	販管費	588	900	+52.9%	
	営業利益	591	631	+6.8%	
コーポレート(※1)	営業利益	▲4,873	▲6,117	–	物流・IT関連費用が増加。

※表示単位未満は切り捨て　※前期比は円単位で計算

（※1）「コーポレート」は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費です。

2027年3月期上期 国内主要ブランド・業態別売上高(連結＋FC)

AUTOBACS SEVEN

（単位：百万円）

	店舗数（前期末からの増減）	2026年3月期上期	2027年3月期上期	前期比	取り扱いカテゴリー		
					カー用品サービス	車検整備	車販売
オートバックス(FC含む)(※1)	653(+9)	118,728	123,049	+3.6%	○	○	
オートバックスカーズ(FC含む)	420(+5)	21,854	23,292	+6.5%			○
ディーラー(※2)	34(+11)	7,887	10,252	+29.2%		○	○
オトロン	21(±0)	3,020	4,819	+59.5%			○
ビーライン(※3)	38(+5)	4,469	4,689	+4.9%	○		
オンラインストア	4(±0)	3,169	4,513	+42.4%	○		
AUTO IN	79(▲3)	962	1,341	+39.4%	○	○	

※表示単位未満は切り捨て

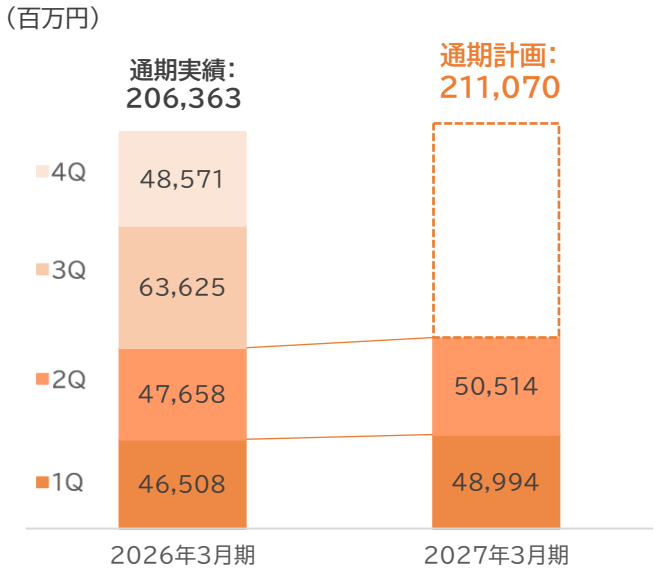
(※1)「オートバックス」には、「スーパーオートバックス」「A PIT AUTOBACS」「オートバックスガレージ」「オートバックスエクスプレス」「Smart+1」「ASM」を含みます。
(※2)「ディーラー」には、「ボディショップもどーる」「K-ばっか！」「アップル車検」「スーパー乗るだけセット」「ハートフル保険」を含みます。
(※3)「ビーライン」の店舗数には、FC48店舗を含みません。なお、FCを含む総店舗数は86店舗です。

2027年3月期上期 セグメント別業績 オートバックス事業

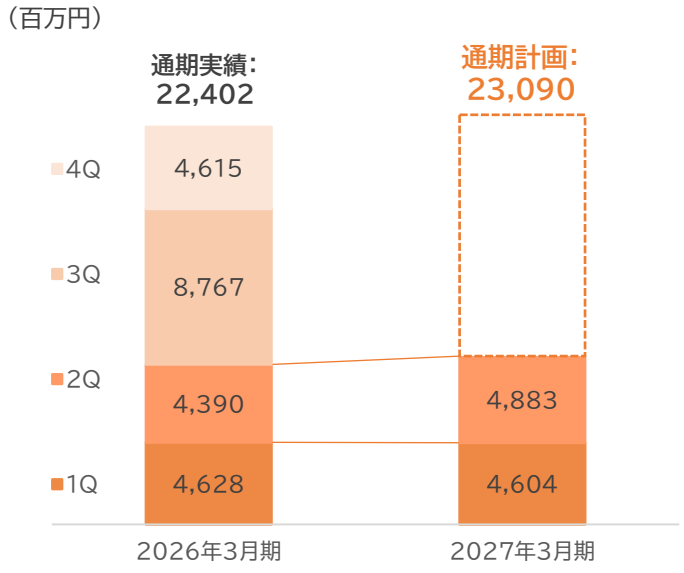
（百万円）	2026年3月期上期	2027年3月期上期	前期比
総売上高	94,166	99,508	+5.7%
小売	46,295	49,352	+6.6%
国内	41,383	44,859	+8.4%
海外	4,912	4,493	▲8.5%
卸売※	44,696	45,859	+2.6%
セグメント間取引	3,173	4,295	+35.4%
営業利益	9,019	9,487	+5.2%

※国内卸売売上およびロイヤリティを含む

■ 総売上高



■ 営業利益



増収増益
国内の小売・卸売ともに伸長し増収。
新規出店や子会社化に伴い販管費が増加したものの、増益。

- 国内オートバックス

＜小売＞

- タイヤ価格改定や販売促進施策により、タイヤ売上が増加
- 中東情勢等を背景としたオイル単価上昇により、オイル売上が増加

＜卸売＞

- タイヤ価格改定の影響などにより、卸売売上が増加

- 海外小売

＜フランス＞

- インフレの進行および個人消費の低迷により、売上が減少
- フランス子会社の譲渡を決定

＜シンガポール＞

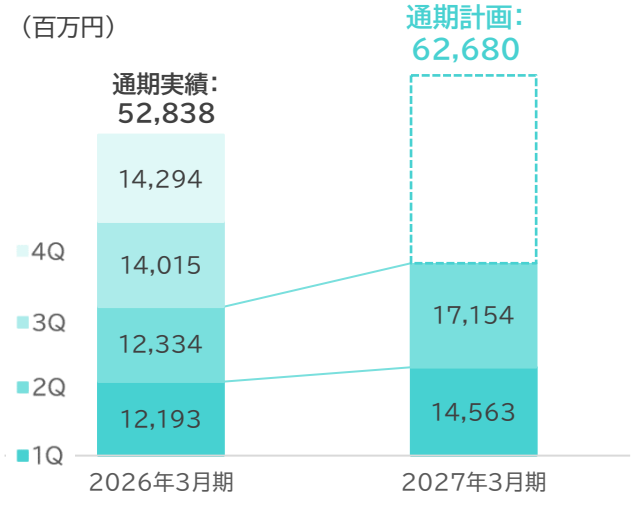
- ピットサービスが堅調に推移したものの、用品売上が減少

2027年3月期上期　セグメント別業績　コンシューマ事業

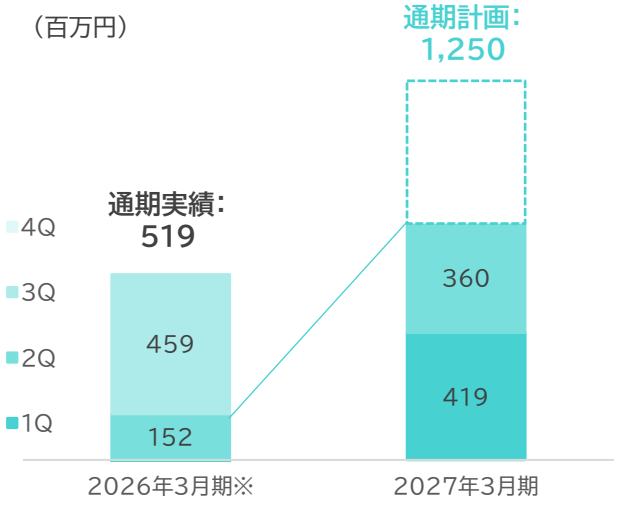
（百万円）	2026年3月期上期	2027年3月期上期	前期比
総売上高	24,528	31,717	+29.4%
ディーラー※	7,887	10,252	+30.0%
ビーライン	4,469	4,689	+4.9%
オートバックスカーズ	4,050	4,582	+13.1%
オトロン	3,020	4,819	+59.5%
オンラインストア	3,169	4,513	+42.4%
その他	1,815	2,727	+50.3%
セグメント間取引	116	132	+14.1%
営業利益	108	779	+617.5%

※ディーラー：Audi、Honda、ボルボおよびBYD を展開。

■ 総売上高



■ 営業利益



※1Q・4Qは営業損失（1Q：▲43百万円、4Q：▲48百万円）

増収増益
オトロン、オンラインストアをはじめ全てのブランド・業態で売上伸長。収益性も向上し、営業利益が大きく改善。

- ディーラー
  Audi、ボルボおよびBYDの正規ディーラー等を運営する会社を子会社化
- ビーライン
  9店舗を新規出店
- オートバックスカーズ
  グループ内の中古車在庫を拡充し、中古車販売が伸長
- オトロン
  販売促進策が奏功したことに加え、前期に出店した4店舗が好調
- オンラインストア
  商品管理の改善により販売機会が拡大し、売上が伸長
- その他
  メンテナンス需要を背景に、車検・整備が好調

ディーラー



タイヤ専業店



自社ローン型中古車販売店



ホームセンター併設の整備工場



2027年3月期上期 セグメント別業績 ホールセール事業

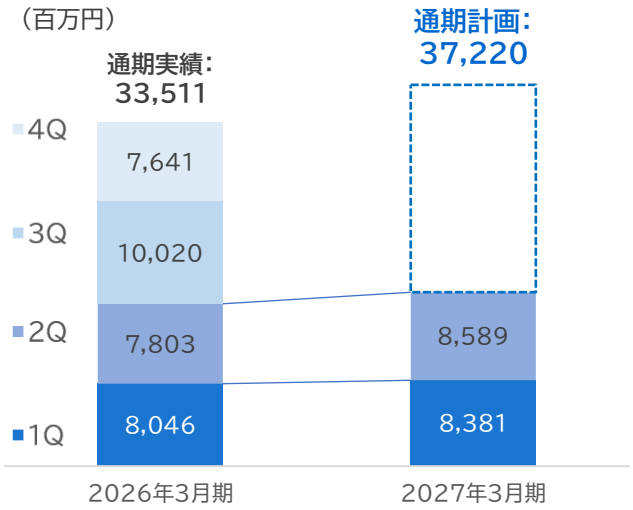
（百万円）	2026年3月期上期	2027年3月期上期	前期比
総売上高	15,849	16,970	+7.1%
国内卸売	9,639	9,838	+2.1%
海外卸売	1,398	1,687	+20.7%
セグメント間取引	4,812	5,443	+13.1%
営業利益	237	277	+16.8%

増収増益
国内の卸売子会社が好調に推移したことに加え、日本から海外向けの輸出が増加し、増収増益。

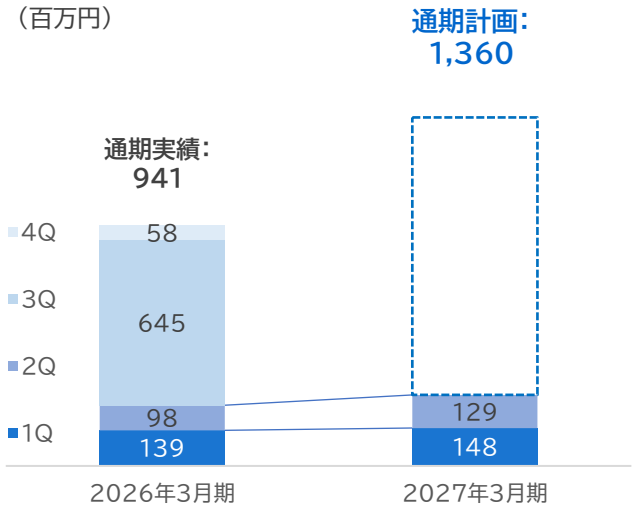
- 国内卸売
  - 中東情勢等を背景としたオイル単価上昇により、オイルの卸売子会社の売上が増加
  - コンビニエンスストア等の新規販路を開拓

- 海外卸売
  ＜日本＞オイルの輸出が増加
  ＜オーストラリア＞無線機の販売が堅調
  ＜中国＞日本向け輸出および中国国内向け卸売が増加
  ＜マレーシア＞オイルの卸売が増加

■ 総売上高



■ 営業利益



プライベートブランド「AQ.」



海外向けプライベートブランド



オーストラリアの無線通信機器シリーズ「MGX」



中国のリンロンタイヤ製専売タイヤ

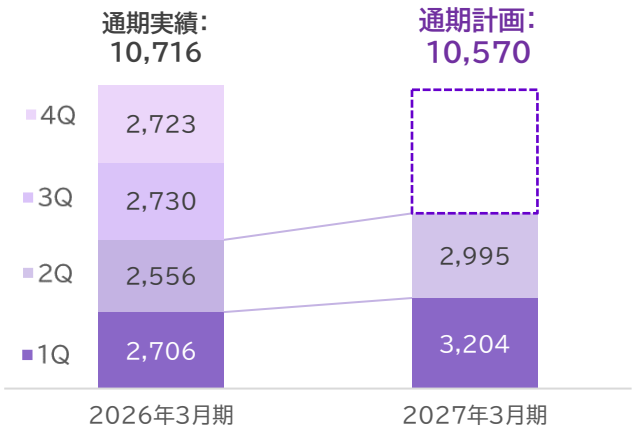


2027年3月期上期 セグメント別業績 拡張事業

AUTOBACS SEVEN

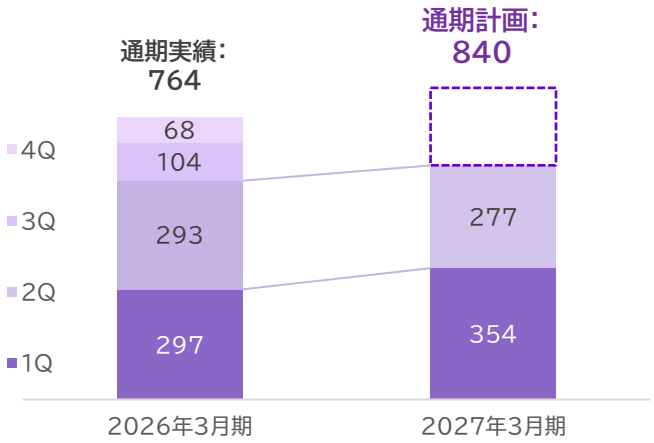
■ 総売上高

（百万円）



■ 営業利益

（百万円）



増収増益
新規出店や金利上昇により不動産収入が増加。

- 不動産
  新規出店や金利上昇により、不動産賃料収入が増加

- マイクロモビリティ
  取り扱い強化により売上が増加

■ トピックス

都市型小型EV「Lean3」全国のオートバックスカーズ店舗で受注開始

- 次世代モビリティのラインアップ拡充とアフターサービス強化を推進
- 多様化する移動ニーズに対応



ライフスタイル提案型賃貸マンションの提供を開始

- 全住戸にロードバイクやバイク用品、キャンプ用品などを収納できる土間空間を設置し、多様なライフスタイルに対応



グランレジデンス大橋 concept by BACSPOT

2027年3月期 国内オートバックスチェン事業環境の想定

AUTOBACS SEVEN

プラス要因

- ✓ 車齢の高齢化に伴う車検・整備およびメンテナンス需要の増加
- ✓ 新規出店による拠点の拡大（+9店舗）

マイナス要因

- ✓ インフレの進行による物価高を背景とした消費マインドの低下
- ✓ 新車の高度化および純正装備の充実化

国内店舗売上高 前期比

当初計画	上期	下期	通期
既存店	+2.5%	+3.6%	+2.6%
全店	+4.0%	+5.1%	+4.1%

実績・計画	上期実績	下期計画	通期計画（修正）
既存店	+3.7%	+3.6%	+3.3%
全店	+4.0%	+5.1%	+4.1%

※対象：国内オートバックスチェン全業態の売上高

2027年3月期 連結損益 通期計画

AUTOBACS SEVEN

（単位：億円）	上期		下期（通期計画―上期実績）		2027年3月期 通期	
	実績	前期比	予想	前期比	予想	前期比
連結売上高	1,411	+9.6%	1,588	+5.0%	3,000	+7.1%
売上総利益	515	+11.5%	572	+6.2%	1,088	+8.7%
売上総利益率	36.5%		36.0%		36.3%	
販管費	465	+13.0%	472	+4.7%	938	+8.6%
営業利益	50	▲0.5%	99	+14.1%	150	+8.7%
営業利益率	3.6%		6.3%		5.0%	
経常利益	49	▲10.2%	100	+10.2%	150	+2.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	69	+99.6%	42	▲13.2%	112	+34.1%

※表示単位未満は切り捨て　※対売上比・前期比は円単位で計算
※フランス子会社の譲渡に伴い、2026年8月27日に通期計画を修正しております。上期に法人税等調整額（益）約43億円を計上しており、下期には特別損失約23億円を見込んでおります。

2027年3月期 セグメント別 通期計画

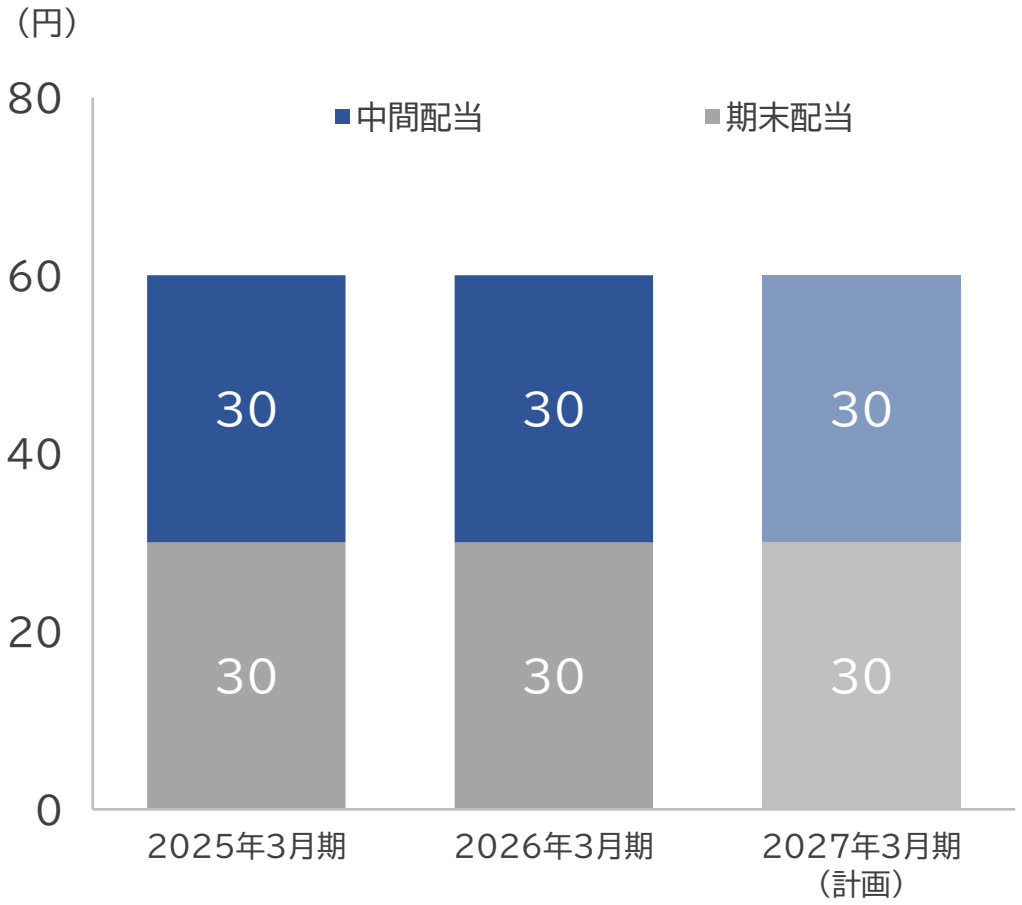
AUTOBACS SEVEN

		上期		下期(通期計画―上期実績)		2027年3月期 通期	
(単位:百万円)		実績	前期比	予想	前期比	予想	前期比
オートバックス事業	総売上高	99,508	+5.7%	111,561	▲0.6%	211,070	+2.3%
	営業利益	9,487	+5.2%	13,602	+1.6%	23,090	+3.1%
コンシューマ事業	総売上高	31,717	+29.3%	30,962	+9.4%	62,680	+18.6%
	営業利益	779	+617.5%	470	+14.7%	1,250	+140.8%
ホールセール事業	総売上高	16,970	+7.1%	20,249	+14.7%	37,220	+11.1%
	営業利益	277	+16.8%	1,082	+53.8%	1,360	+44.5%
拡張事業	総売上高	6,199	+17.8%	4,370	▲19.9%	10,570	▲1.4%
	営業利益	631	+6.8%	208	+20.0%	840	+9.8%
コーポレート	営業利益	▲6,117	―	▲5,422	―	▲11,540	―

※表示単位未満は切り捨て
※対売上比・前期比は、円単位で計算

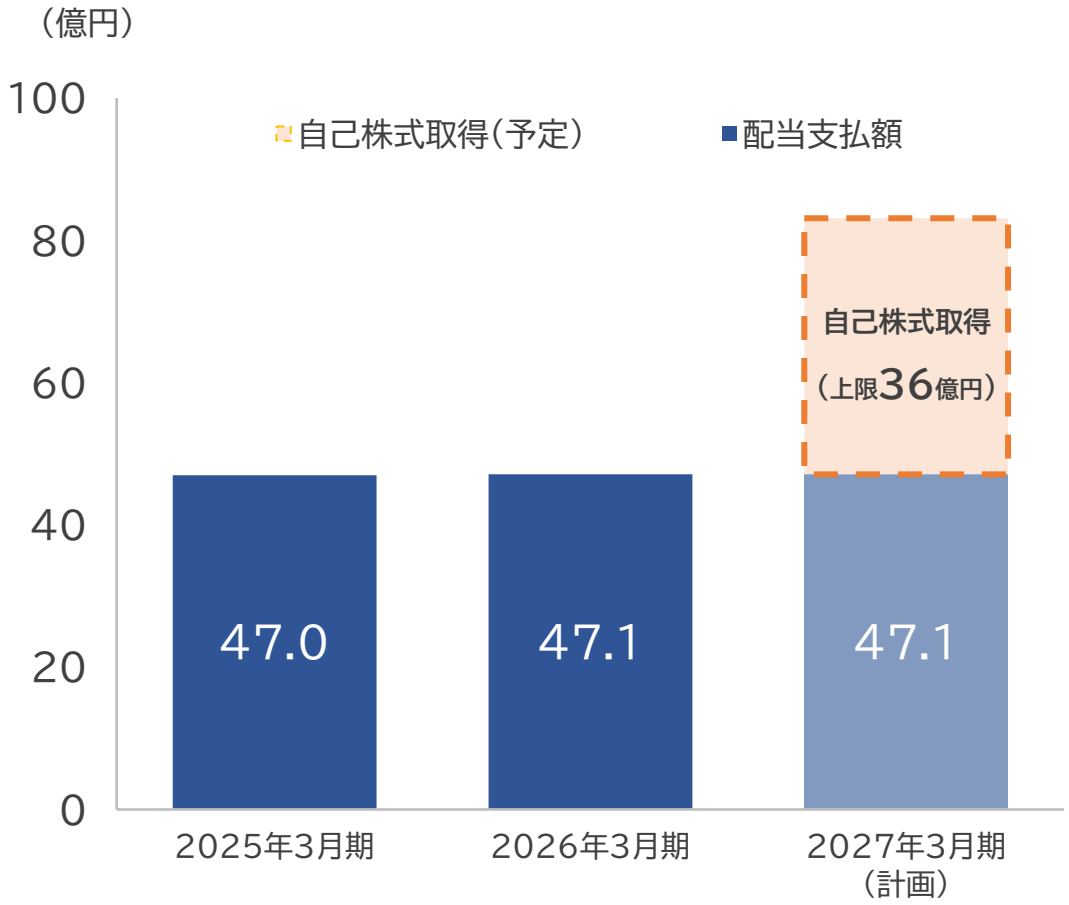
2027年3月期　配当・自己株式取得　下期・通期計画

一株当たり配当金の推移



※表示単位未満は切り捨て

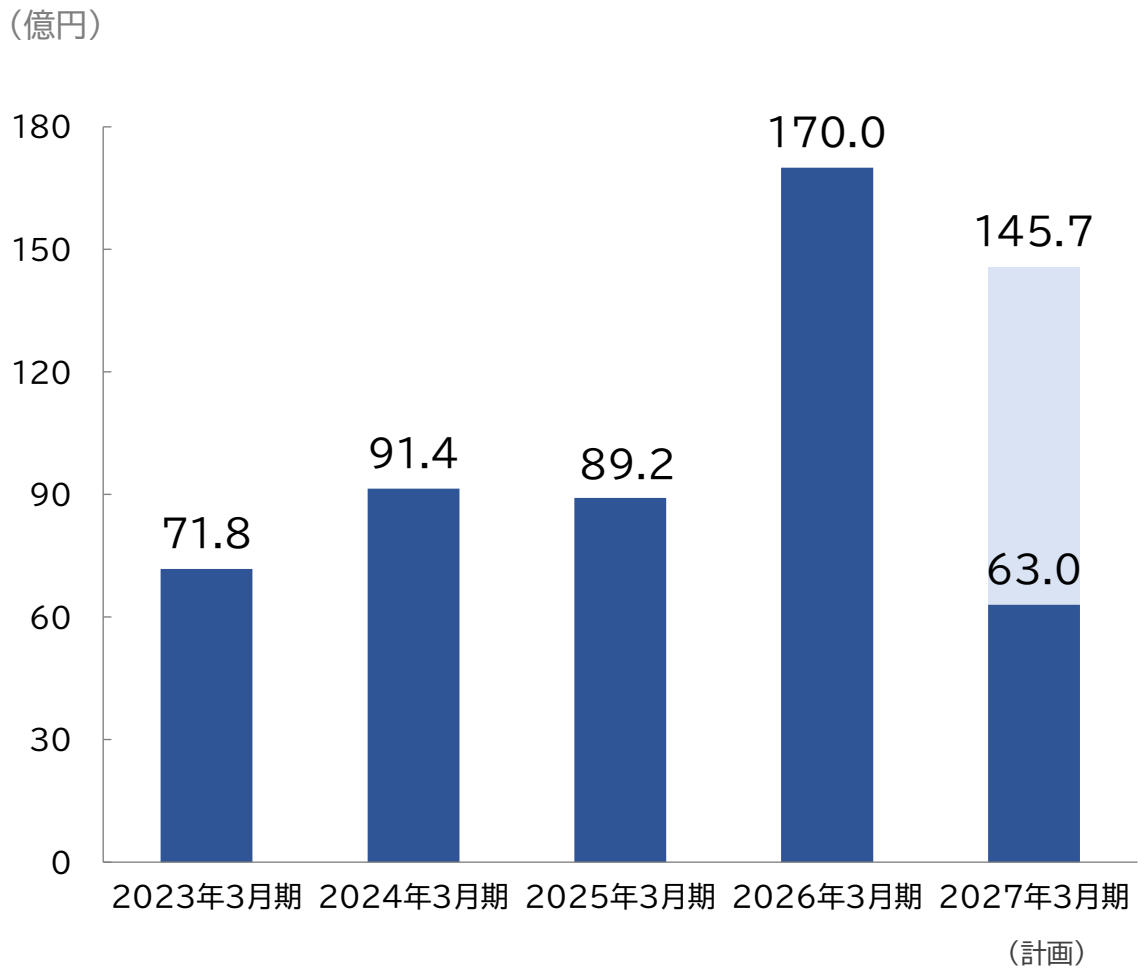
配当と自己株式取得金額



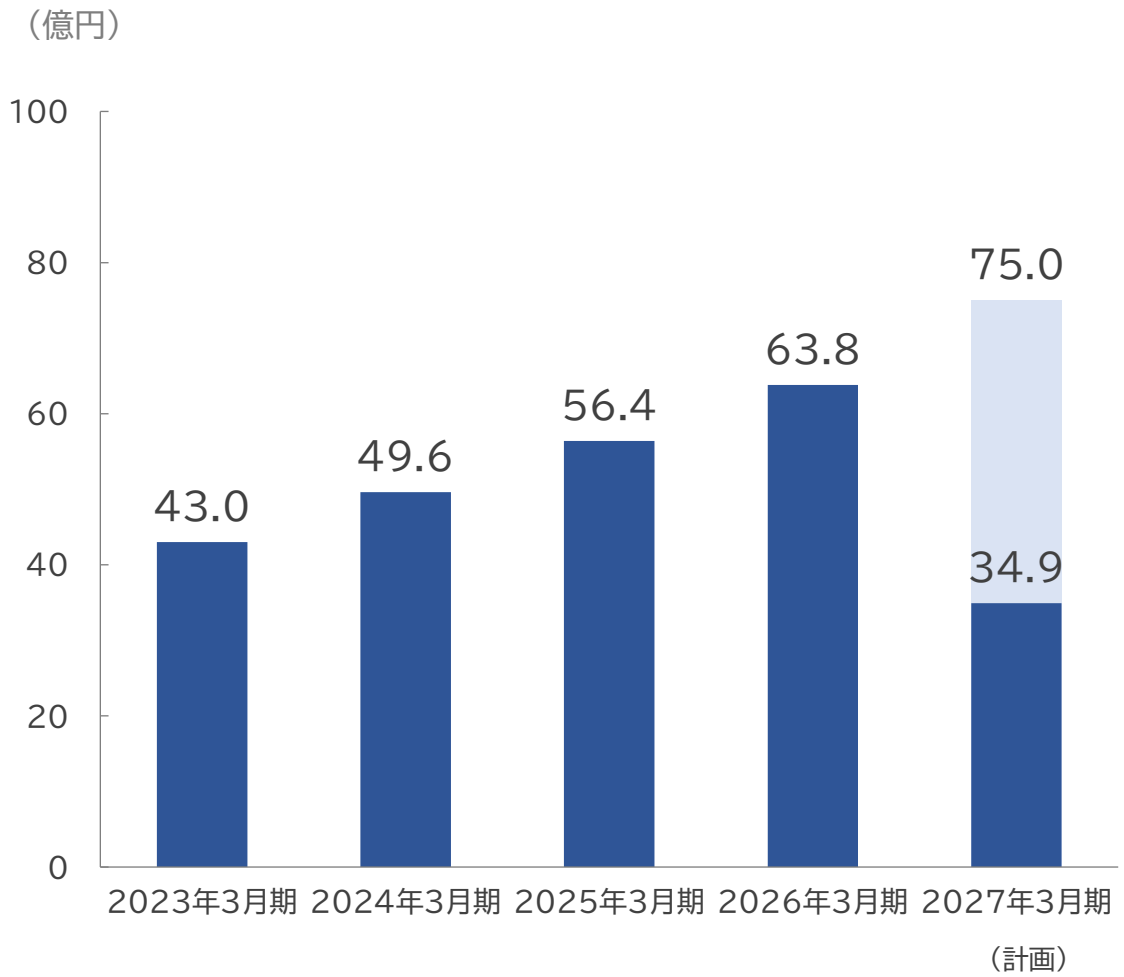
※2026年10月30日に「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」を発表

2027年3月期　設備投資・減価償却費下期・通期計画

設備投資



減価償却費



※表示単位未満切り捨て

中期経営計画の実現に向けた
取り組み状況について

代表取締役社長
堀井　勇吾

1. 長期ビジョンと2024中期経営計画の目標
2. 中計最終年度（2026年度）の現状
3. 中長期の方向性について

AUTOBACS SEVEN

■ 長期ビジョン「Beyond AUTOBACS Vision 2032」

パーパス

社会の交通の安全とお客様の豊かな人生の実現

ビジョン

お客様にとっての「モビリティライフのインフラ」をグローバルで目指す

進化の方向性

「出かける楽しさ」を提案し続ける会社へ

2032年度 KGIおよび国内KPI目標

連結売上高	5,000億円	グループ店舗数	2,200店舗
		車検台数	100万台
		車販売台数	15万台

AUTOBACS SEVEN

■ 2024中期経営計画戦略骨子

1. タッチポイントの創出

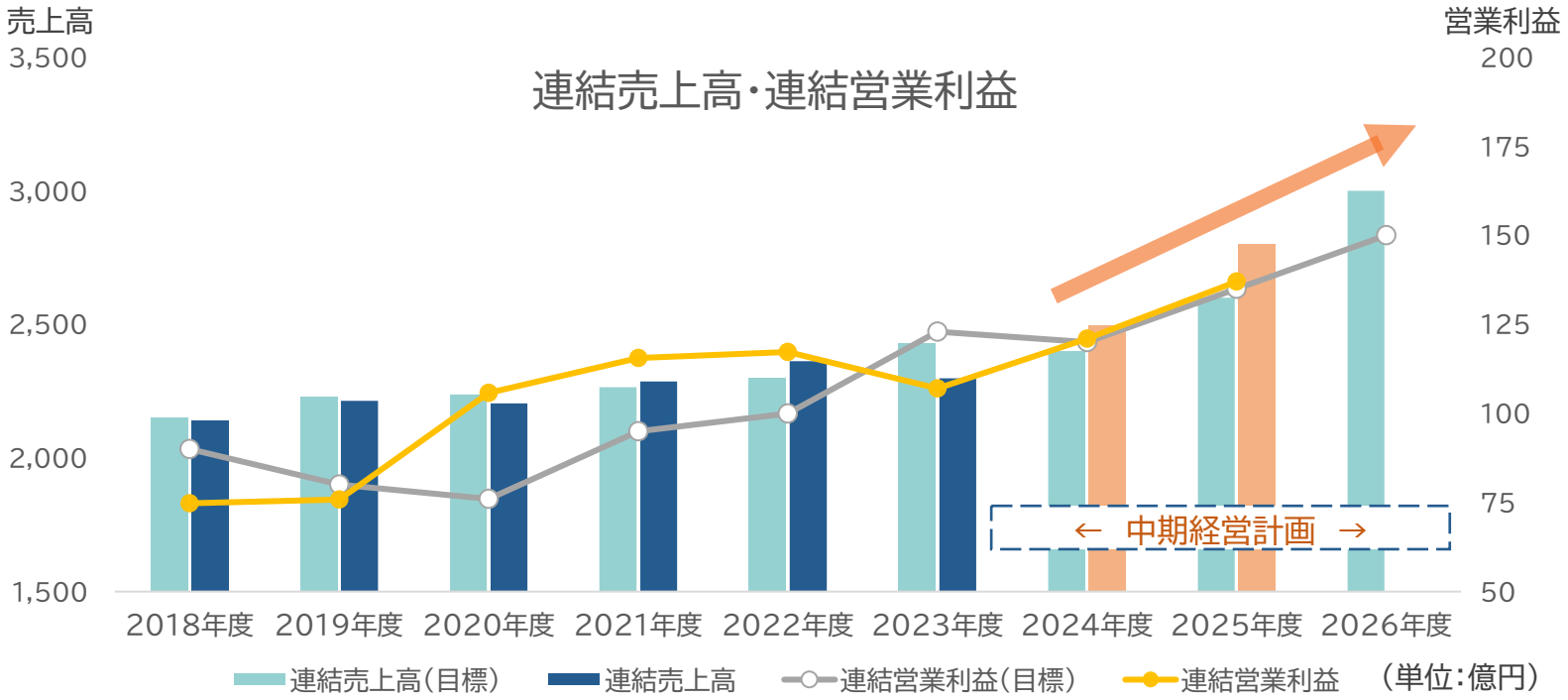
2. 商品・ソリューションの開発と供給

3. 新たな事業ドメインの設定

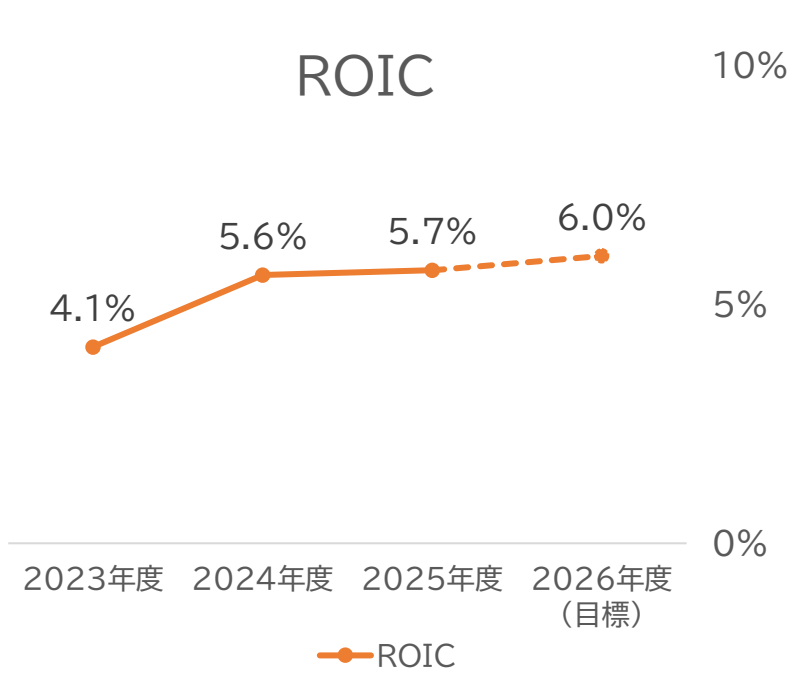
AUTOBACS SEVEN

■ 2026年度の経営目標

連結売上高	連結営業利益	ROIC
3,000億円	**150億円**	**6.0%**
2025年度:2,800億円 2024年度:2,495億円	2025年度:137億円 2024年度:121億円	2025年度:5.7% 2024年度:5.6%



※2023年度 営業利益:チェンパッケージ変更による一時的な減額(▲約30億円)を除く



■ 外部環境

	市場環境	事業への影響
自動車業界の動向	中東情勢の緊迫化 サイバーセキュリティリスクの増大	調達途絶リスクの顕在化 ITガバナンス水準の統一
	新車価格の高騰・平均車齢の上昇 先進技術の進展・EV車両の普及	中古車需要およびメンテナンス需要の高まり 整備高度化とEVの取り扱い
顧客動向	インフレの進行 AIの普及 次世代モビリティの普及	価値観の多様化と志向の二極化

■ 内部環境

	課題	対応
経営資源の活用	生産性向上	人的資本の活用

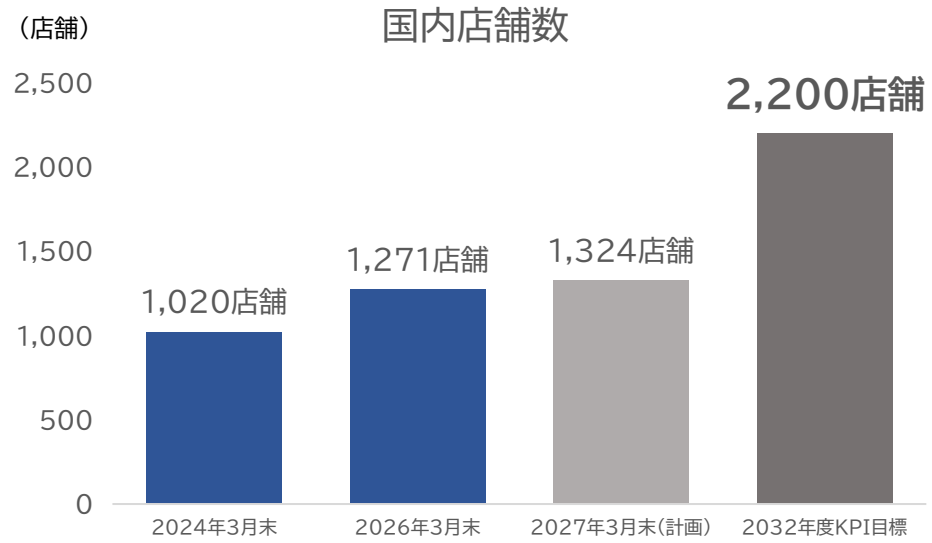
AUTOBACS SEVEN

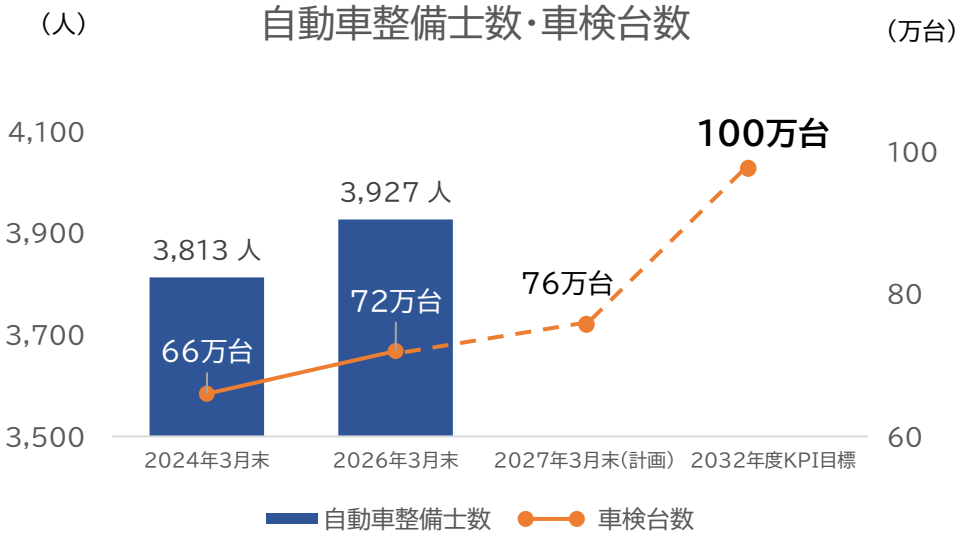
■ 本質的な目的

- ✓ タイヤ販売シェアと整備拠点の拡大
- ✓ 車販売拡大によるLTVの起点創出
- ✓ 資本配分の最適化

AUTOBACS SEVEN

■タイヤ販売シェアと整備拠点の拡大





※オートバックスチェン全体の自動車関連国家資格(自動車整備士1級・2級・3級)の延べ保有者数です。

✓ 拠点の拡大

タイヤ販売



ビーライン飯塚筑穂店

整備ネットワーク



㈱羽中田自動車工業

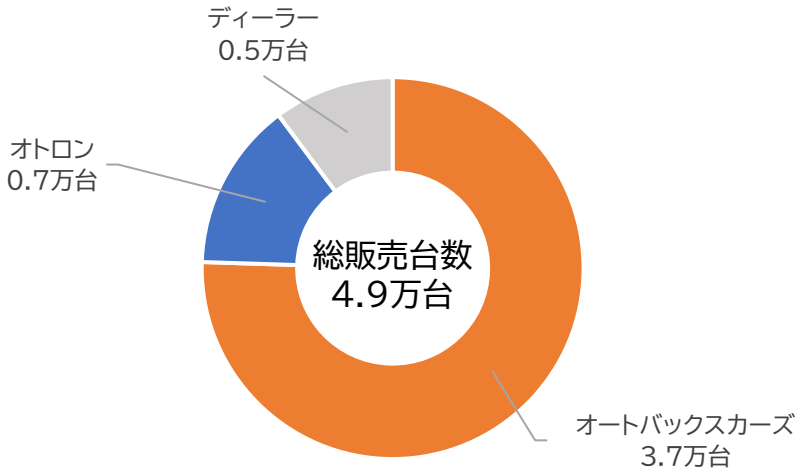
✓ 整備人材の確保と育成

保有資格	2024年3月末	2026年3月末	増減
検査員	1,735人	1,760人	+25人
1級整備士	51人	61人	+10人
2級整備士	2,596人	2,648人	+52人
3級整備士	1,166人	1,218人	+52人

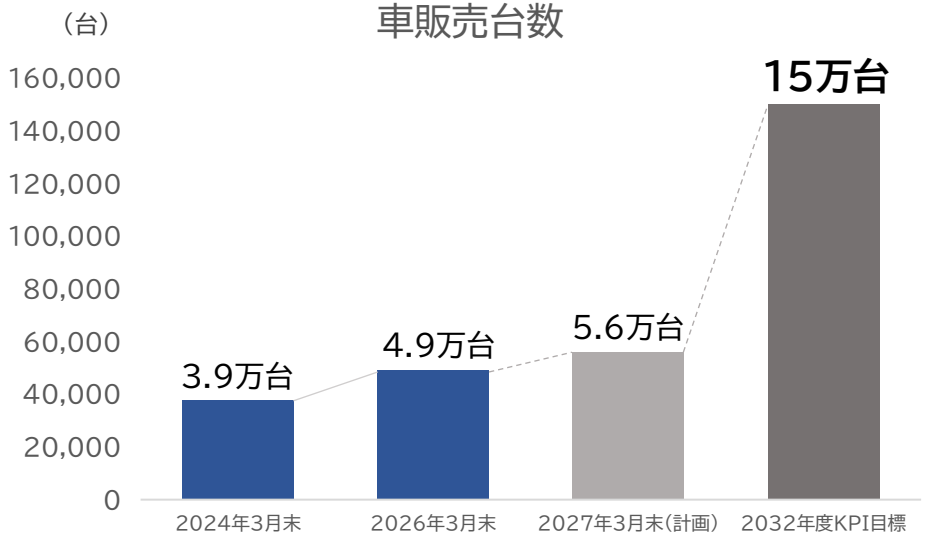
AUTOBACS SEVEN

■ 車販売拡大によるLTVの起点創出

販売構成(2026年3月末実績)



車販売台数



✓ ニーズに合わせた購入先の選択

特徴	ブランド
多種多様な中古車	オートバックスカーズ
自社ローン中古車	オトロン
新車・輸入車	ディーラー

✓ 中古車グループ内在庫共有(エコシステム)

AUTOBACS CARS × オトロン



AUTOBACS SEVEN

■ 資本配分の最適化

✓ 拠点ごとの選択と集中

海外拠点

- マレーシアにおけるライセンス店舗の撤退
- フランスからの撤退の決定

国内拠点

- エリア経営体制の強化
- 物流基盤の強化

物流基盤の強化


主要エリアへの拠点配備(DPL名港弥富)


デバンニングロボット「Rocky One」

✓ ITガバナンス水準の統一

- セキュリティツールの統一導入
- 規程整備と推進体制の構築

✓ 資本効率の改善

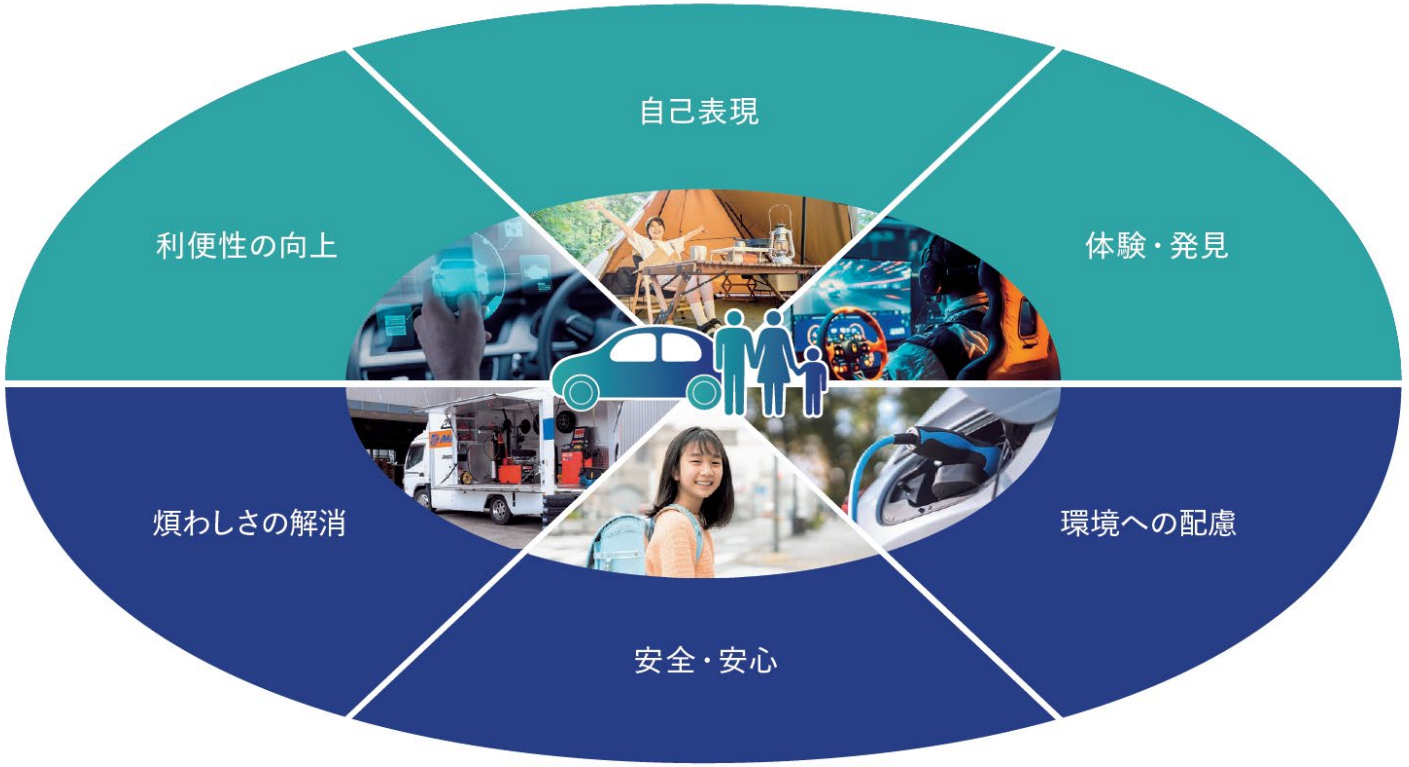
- 非事業資産の圧縮
- 株主還元(自己株式取得)

AUTOBACS SEVEN

■ お客様の困りごと解決に向けて

✓ 連携による提供価値の拡大

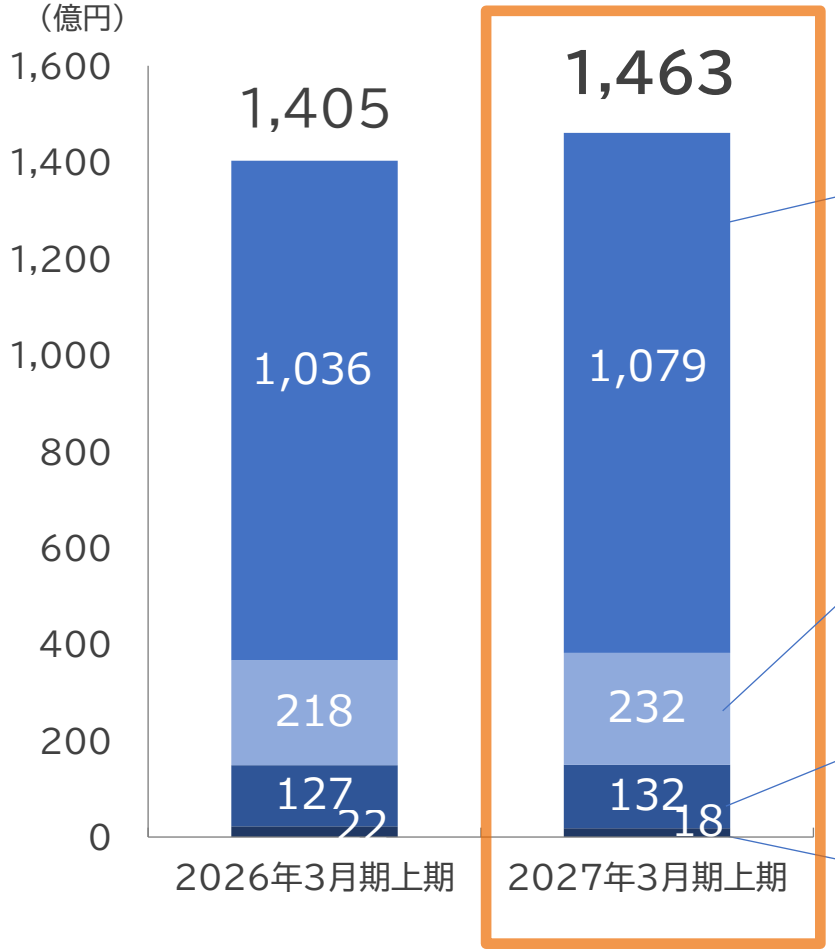
- 事業間連携によるグループアセットの活用
- アライアンスの推進による対応領域の拡張



モビリティライフのインフラとして、お客様に寄り添い続ける

＜参考＞2027年3月期上期　国内オートバックスチェン　全業態売上高

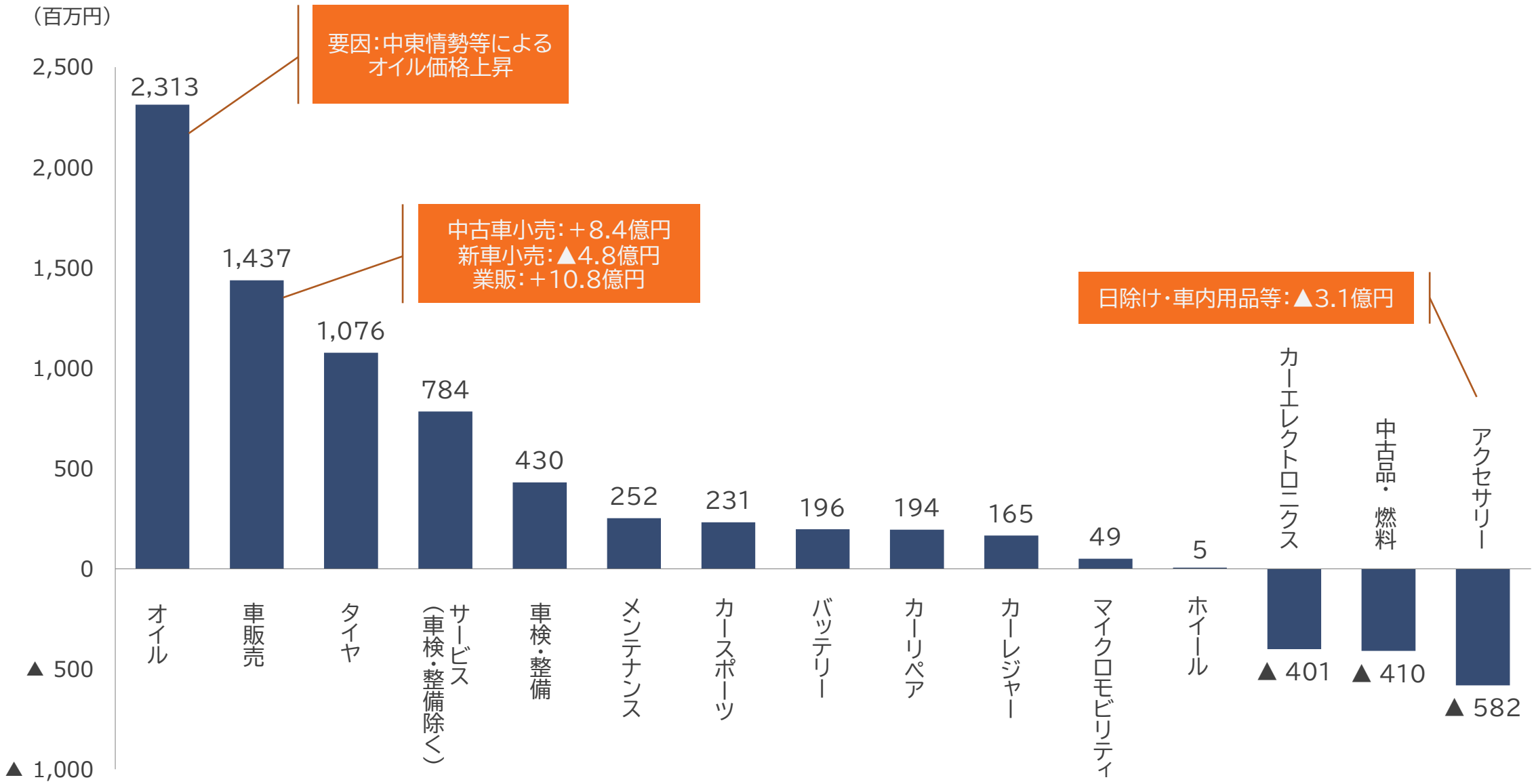
国内店舗売上高　1,463億円　　前期比　+4.0%



	実績	前期比
カー用品販売＋サービス	1,079億円	+4.1%
車販売	232億円	+6.5%
	18,230台	+0.2%
カーズ加盟店舗数	420店	前期末＋5店
車検・整備	132億円	+3.3%
	32.5万台	▲3.1%
指定店舗数	448店	前期末＋4店
中古品・燃料	18億円	▲18.0%

※対象：国内オートバックスチェン全業態。ただし、車販売には、コンシューマ事業の売上を一部含む
※表示単位未満は切り捨て　※前期比は円単位で計算

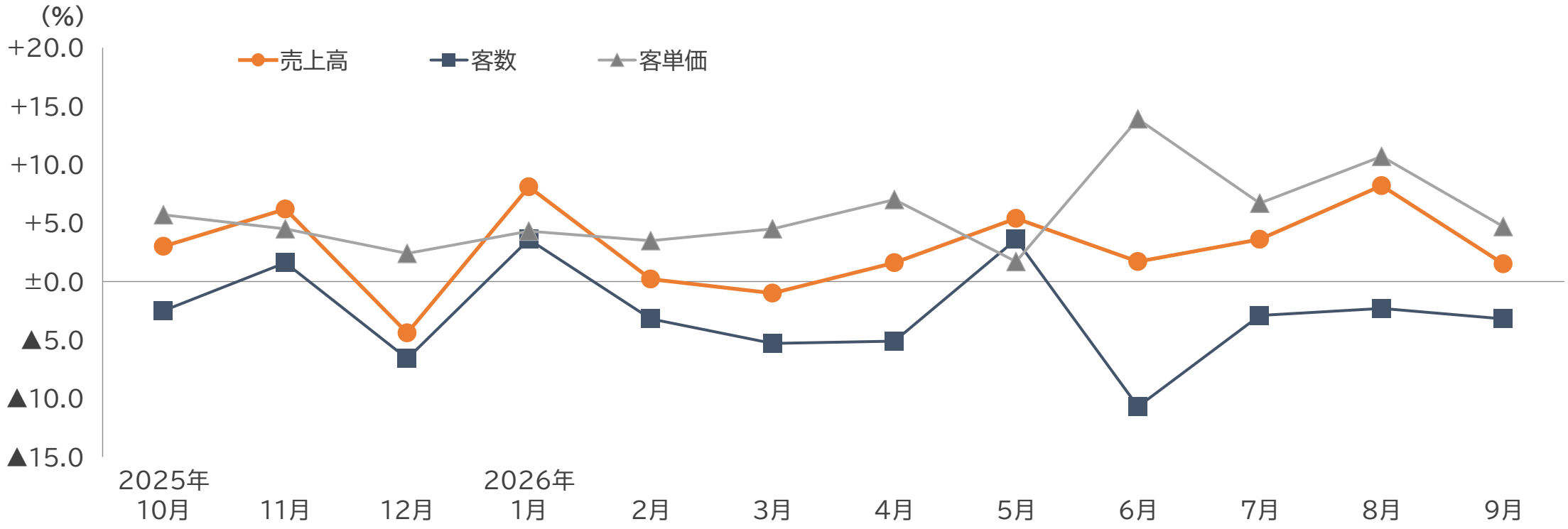
＜参考＞2027年3月期上期　国内オートバックスチェン全業態売上高 増減額（前期差 全店ベース）



※対象：オートバックス、オートバックスガレージ、スーパーオートバックス、A PIT AUTOBACS、ASM、Smart＋1、オートバックスエクスプレス、オートバックスカーズ
※表示単位未満は切り捨て

AUTOBACS SEVEN

上期　既存店 売上前期比 +3.7 %　客数前期比 ▲3.4%





台数合計　18,230台　前期比　+0.2%

（単位：台）	2026年3月期上期	2027年3月期上期	前期比
小売販売台数	5,193	**5,202**	+0.2%
中古車	3,785	**4,030**	+6.5%
新車	1,408	**1,172**	▲16.8%
業販台数	13,000	**13,028**	+0.2%
本部へ売却	158	**84**	▲46.8%
本部へ売却を委託	3,264	**3,357**	+2.8%
店舗から直接売却	9,578	**9,587**	+0.1%
総販売台数	18,193	**18,230**	+0.2%

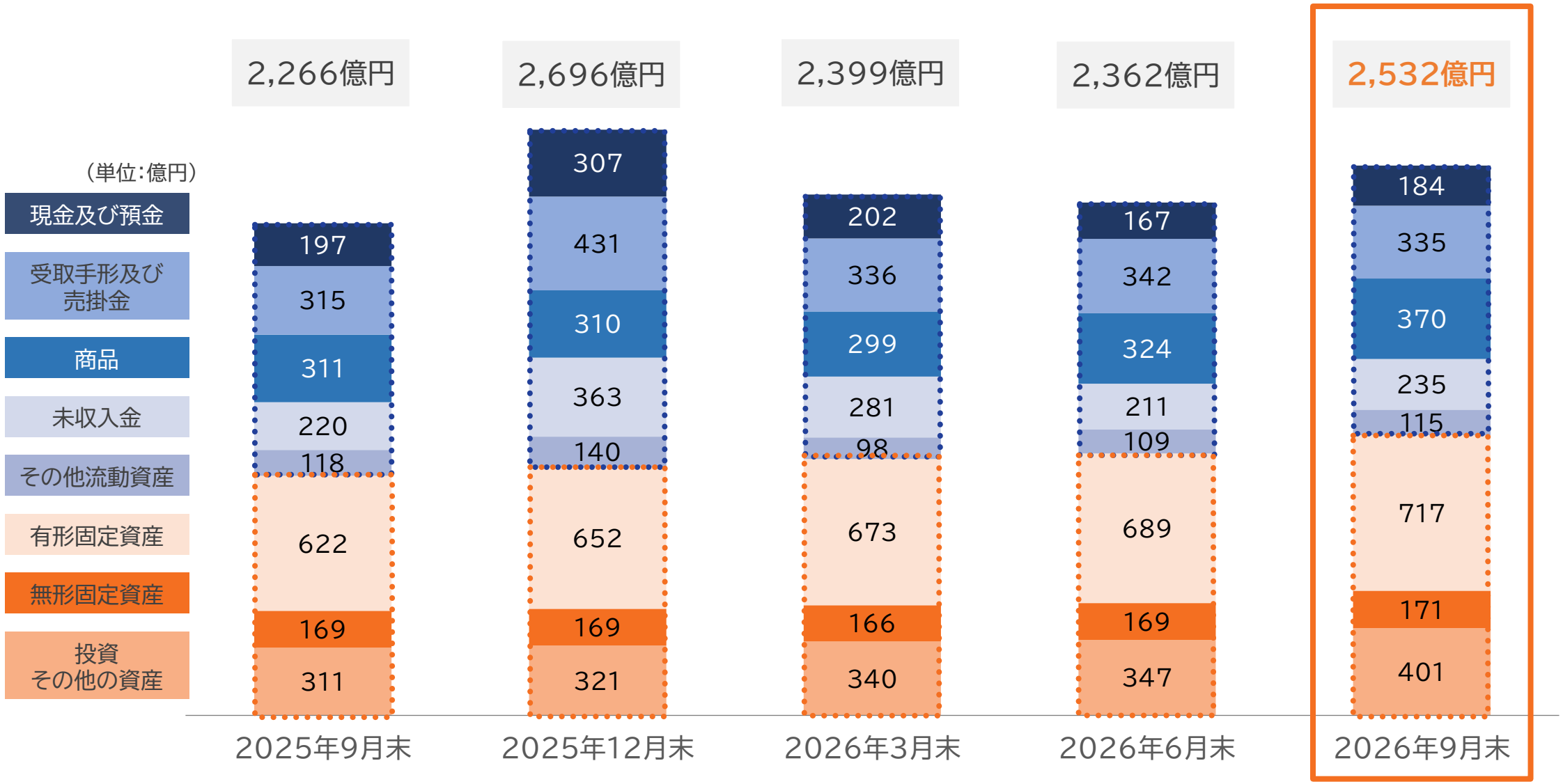
※オートバックス事業およびコンシューマ事業における車販売

＜参考＞出退店の実績・計画

区分		2026年3月末	2027年3月期上期			2027年3月末
		実績	新店	退店	上期実績	計画
国内	オートバックス	519	+6		525	528
	オートバックスガレージ	1			1	1
	スーパーオートバックス	71			71	71
	A PIT AUTOBACS	3	+1		4	4
	ASM	21	+1	-1	21	22
	Smart+1	18	+2		20	27
	オートバックスエクスプレス	11			11	11
	オートバックスカーズ	415	+6	-1	420	421
	ディーラー	23	+6		29	30
	ビーライン	77	+9		86	89
	オトロン	21			21	25
	AUTO IN	82	+1	-4	79	79
	その他拠点	9	+7		16	16
	国内合計	**1,271**	**+39**	**-6**	**1,304**	**1,324**
海外	台湾	6		-1	5	5
	シンガポール	2			2	2
	タイ	127	+1		128	134
	フランス	8			8	8
	フィリピン	6			6	6
	海外合計	**149**	**+1**	**-1**	**149**	**155**

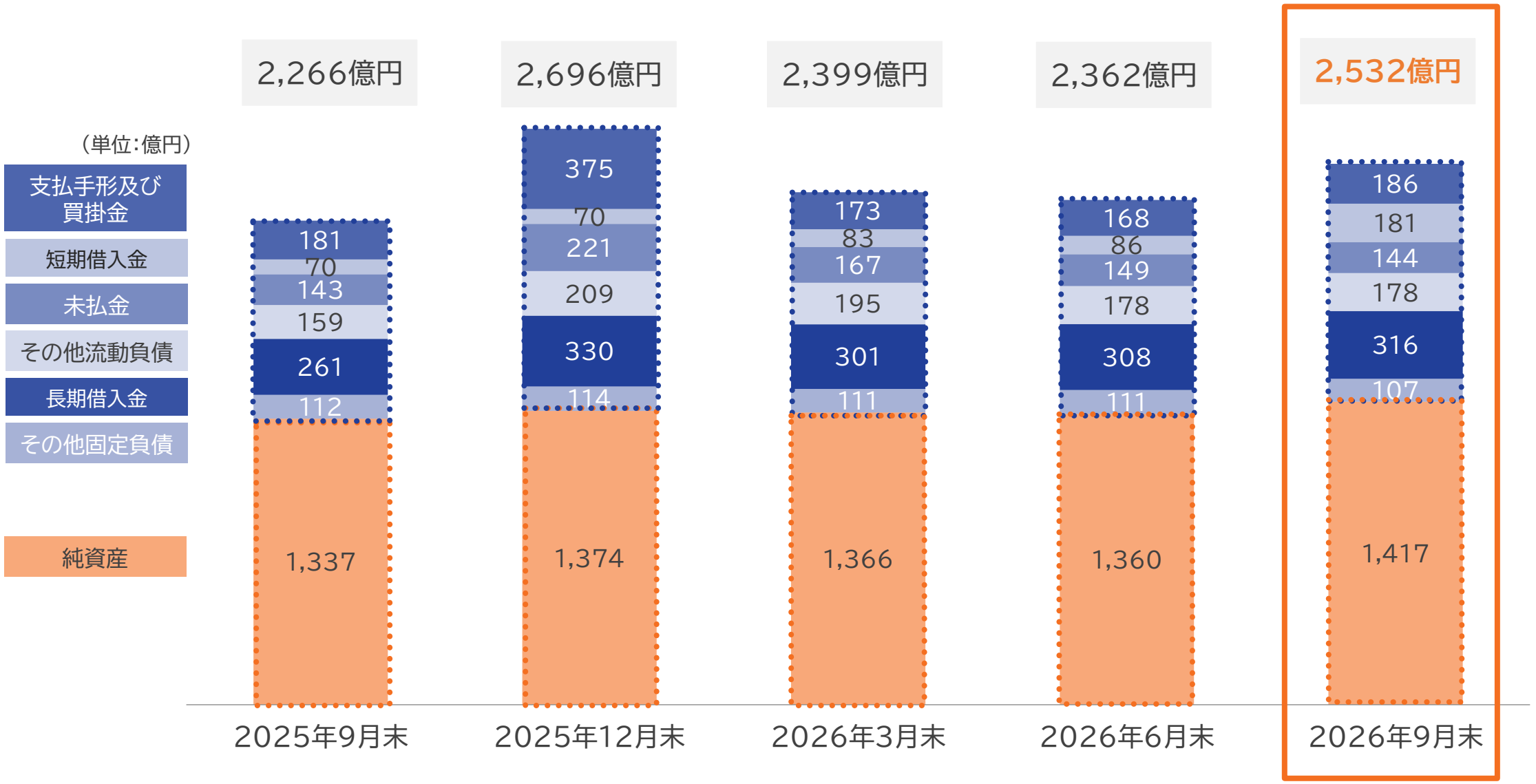
※「ASM」「Smart+1」および「オートバックスカーズ」は、インショップ・併設店を含みます。

＜参考＞連結貸借対照表　資産の部



※表示単位未満は切り捨て

＜参考＞連結貸借対照表　負債・純資産の部



※表示単位未満は切り捨て



見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。 これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。